



会員生協の取り組み
2回連載(前編)



原発と放射能の学習会、上映会を開催

忘れないように問いかけ続ける。

パルシステム東京 あだちエコ委員会

パルシステムグループでは、原発事故による放射能の影響を自分たちで学んだり、放射能による健康不安を抱える人々を支える活動を続けています。今回から2回にわたり、こうしたグループの取り組みについて紹介します。前編はパルシステム東京の組合員が運営する「あだちエコ委員会」。身近な暮らしの問題として学習会などを開催しています。



全国の市民ネットワーク「みんなのデータサイト」が作成した「放射能測定マップ」についての学習会(2020年12月)



原発事故後の福島の有機農家の姿を追った『それでも種をまく』などを上映。写真上は会場受付の「あだちエコ委員会」のメンバー(2021年3月)

あだちエコ委員会

東京都足立区内の組合員が集まって2017年に設立。環境をテーマに地元で活動をするなかで、原発事故や放射能についての学習会や映画上映会も開催しています。

※活動内容はFacebookで紹介していますので、ご覧ください。

「足立区地球環境フェア2019」でパルシステムのSDGsの取り組みを映像とパネルで紹介



くらしの問題こそ、地元で考えたい

「あだちエコ委員会」は、地元の足立区内でそれぞれ子ども食堂やフードパントリー(無料の食料品支援)、ヤングケアラーの居場所づくりといった支援活動に取り組んでいる組合員によって2017年に結成されました。地域のつながりで出会った5人が、たまたまみんな組合員だったことから「それなら、パルシステム東京の委員会活動として環境をテーマにした上映会や学習会をやるよ」と活動が始まったそうです。「身近な暮らしの問題こそ、自分たちの生活基盤がある地元で考えることが大切だと思うんです」。委員長を務める平島芳香さんは委員会活動の意義を、そう話します。

委員会で扱っているのは、環境を中心に食の安全、エシカル、憲法など生活にかかわる幅広いテーマ。そのなかで再生可能エネルギーの映画『日本と再生光と風のギガワット作戦』上映会、原子力防災の講演会、「放射能測定マップ」の読み解き学習会など、原発や放射能について学ぶ企画も開催してきました。

「2011年の原発事故後、足立区でも街路樹の下などで基準値を超える高い放射線量が測定されているんです。実際に、区に除染の要求をしたこともありました。そうした地域の状況もあり、あだちエコ委員会でも放射能や原発についての情報を発信して問いを投げかけ続けることが大切だね、と話し合ってきました」

組合員活動を通じて声を届ける

イベント参加者は子育て世代からシニア世代まで幅広く、開催後のアンケートでは「あらためて原発について考えた」「学習の機会を与えてもらってよかった」「放射能のことがずっと気になっていた」といった声が寄せられています。

「私たちの委員会では、遺伝子組換え食品や農薬などの学習会もしていますが、食の安全と放射能の問題は関心のある人が重なっているように思います。原発事故の補償にしても、食の安全の問題にしても、その根本にあるのは私たちが生きていくうえの権利をどう守るか、ではないでしょうか」と平島さん。

東日本大震災が起きた当時、運送会社に勤めていた平島さんは荷物の受け渡しのオペレーションを担当して被災地の大変な状況を日々感じていたと話します。震災翌年からは宮城県石巻市を中心に災害ボランティアへ通い、2013年以降は福島県二本松市の有機農家のもとでの「縁農」活動も続けてきました。

「放射能の影響は長期間続くもの。目には見えないからこそ、忘れないように考え続けていくことが大切です。一人ひとりの声は小さくても、組合員活動を通じて大きな動きにつなげていけるのではと思います。いっしょに学びながら、地域に寄りそい情報発信や話し合いの場づくりを続けていきたいと思っています」

(後編の2月4回は、パルシステム群馬の取り組みを紹介します)

放射能検査状況について

2021年度の検査数(カッコ内は検出件数)/2021年11月25日現在
※最新の検査状況は下記左側の二次元コードよりご覧いただけます。

総計:1643(19) 不検出率:98.8%

2020年度の検査数 総数2138(31) 不検出率98.6%

青果	333(1)	れんこん(3.1Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
しいたけ	26(17)	生しいたけ(5.5~20Bq/kg)、岩手県産乾しいたけ・小粒どんこ(21Bq/kg)、冷凍食品の産直原木しいたけ(3.1Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。
他のきのこ類	32(0)	2020年度に続き、11月25日現在で放射能の検出はありません。
米・米飯類	30(0)	2021年産の玄米は28産地29検体を検査し、不検出でした。今後も順次、検査を行っていきます。

牛乳、肉、卵	79(0)	産地ごとに定期的に検査しています。2020年度に続き、11月25日現在で放射能の検出はありません。
魚介類	85(0)	2020年度に続き、11月25日現在で放射能の検出はありません。
飲料水・飲料	53(0)	2020年度に続き、11月25日現在で放射能の検出はありません。
乳幼児用食品	144(0)	2020年度に続き、11月25日現在で放射能の検出はありません。
その他加工食品	861(1)	うぐいすきな粉(5.2Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。

※乳幼児用食品のみ検出下限値1Bq/kg、その他は検出下限値3Bq/kg。



- 週次の「放射能関係のお知らせ」はインターネットに掲載しています。
- インターネットから見られない方はこちらにお問い合わせをお願いします。

パルシステム東京・パルシステム神奈川・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき
パルシステム問合せセンター **0120-868-014** 月~金曜日:9時~20時 土曜日:9時~17時
※通話料は無料です。 ※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム山梨 甲斐センター ■0120-28-5891 高崎センター ■0120-60-5118
西桂センター ■0120-32-1061 渋川センター ■0120-36-3315
一宮センター ■0120-21-9898 東毛センター ■0120-63-3735
※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。